

【事業名】AnotherADdress 衣類循環アップサイクル事業「roop」

【事業代表者】株式会社大丸松坂屋百貨店

【共同事業者】学校法人 ミクニ学園 大阪文化服装学院

目的

服の「廃棄を減らす・寿命が伸びる・技術を継承する」循環型ファッションの提案

概要

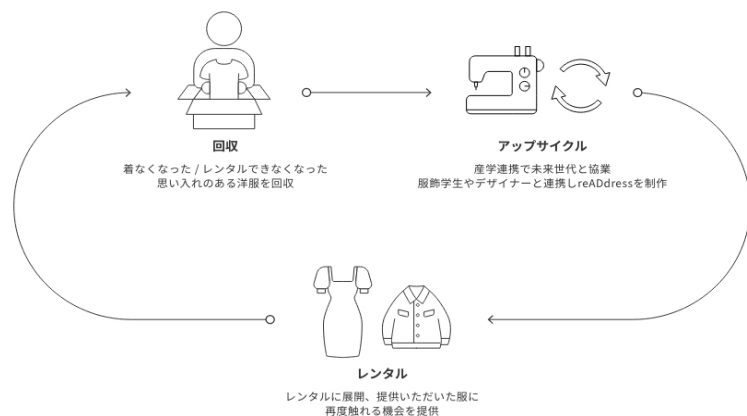
AnotherADdressでは立ち上げ以来、ファッションを楽しむことを前提としながら、「(大量生産・大量廃棄を主因とする環境課題からの脱却による)持続可能なビジネスモデル」の実現に向けて様々な取り組みを行ってきました。

配送時のゴミを減らすための再利用可能なガーメントバッグの利用、ファッションを使い捨てにしないという想いのもと、目立った使用感のないアイテムをお得にレンタルできるロングライフアイテム。レンタルが難しくなったアイテムを染色やリメイクの技術で生まれ変わらせるアップサイクルブランドreADdress。

● CHANGE LIFESTYLE ●

“ライフスタイルを変える”roopの取り組み

roopは、お客様から思い入れのあるアイテムを素材として回収し、
新たなアイテムを製作してレンタルできるようにすることで、ファッションのアップサイクルを推進します。



今回新たなroopの取り組みでは、AnotherADdressのサービスの枠組みを超えてアップサイクルの取り組みを推進します。

「roop 衣類循環アップサイクルプロジェクト」は、人生を変えるきっかけになるファッションの力を信じながら、生活者の行動の変化を促進し、服の「廃棄を減らす・寿命が伸びる・技術を継承する」循環型プロジェクトです。

アナザーアドレス、百貨店店舗利用者から、思い入れのあるアップサイクルしたいアイテムを回収し、ファッションの未来を担う服飾学生やデザイナーと連携してアップサイクルアイテムを製作します。

アナザーアドレスでレンタルとして再び想いを馳せたアップサイクル品を一人でも多くのお客様に着用いただきループ(循環)することで行動や生活は変化していくと考えています。

衣類への想いやストーリーを一つひとつ丁寧に紡ぎ、脱炭素につながる新たな暮らしである循環型ファッションを提案してまいります。

roopでは、サービス利用者や百貨店事業との連携による「衣類の回収」という仕組みをすることで、生活者と環境的意義のある接続を実現。衣類における従来の「3つの循環」に加え、「第4の循環:roop」を組み込むことで、大切な服が循環し続け、未来に繋がる社会を目指します。

事業の継続的な認知、普及を促すために、各種PR活動、コンペ形式のファッションショー・展示も実施いたします。※詳細は、roop特設ページをご覧ください。

<https://www.anotheraddress.jp/roop>